**第１回福山市上下水道事業経営審議会議事録**

１　日　　時　　２０１５年（平成２７年）８月５日（水）

　　　　　　　　９時から１３時３０分まで

２　場　　所　　中津原浄水場　中央管理センター２階会議室

３　出席委員　　９人（委員総数　１０人）

　　　　　　　　石井委員，小田委員，客本委員，日下委員，河野委員

　　　　　　　　小林委員，堤　委員，橋本委員，平田委員

　　　　　　　　（※名前は五十音順）

４　傍聴人　　１人

５　次　　第

　（１）開会

　（２）任免通知書の交付

　（３）上下水道事業管理者挨拶

　（４）審議会委員自己紹介

　　　　上下水道局職員自己紹介

　（５）議事

　　　①　会長・副会長の選任

　　　②　審議会の目的及びスケジュールについて

　　　③　上下水道事業の概要について

　　　④　上下水道施設の視察について

　（６）閉会

６　議事録

　（１）会長・副会長の選任

　　　　会長には，堤委員が選任された。

　　　　副会長には，小田委員が選任された。

　（２）審議会の目的及びスケジュールについて

　　　事務局から審議会の目的及びスケジュールを説明。

　　　その後，次の内容の質疑応答を行った。

　　　委　員　　今後審議会では，上水を先に議論するのか，あるいは下水を先にするのか，それとも両方を一緒に議論していくのか。

　　　事務局　　水道，下水道は非常に関連した事業が多いため，水道，下水を合わせた部分で審議いただきたいと考えている。

予算，決算については，水道，工業用水道及び下水道は別々の会計になっているので，分けて説明していく。

（３）上下水道事業の概要について

事務局から上下水道事業の概要について説明。

　　　その後，次の内容の質疑応答を行った。

　　　委　員　　説明の中で，管路の耐用年数は40年，50年ということだったが，機械設備の耐用年数はどうなっているのか。

　　　事務局　　機械については，15年となっている。

　　　委　員　　例えば処理場とか浄水場などについては，15年以降あるいは建築基準法の改正以降のものについては，耐震基準はクリアしているのか。

　　　事務局　　建築基準法が改正された以降の建物は耐震基準はクリアしている。建物の中に入っている機械については，計画的に維持管理するなどして，耐震性の確保に努めている。

　　　委　員　　水道の現在の普及率 95.7％を上げるということについて，どのように考えているのか。

　　　事務局　　新市地区は地下水が豊富ということで，普及率が低くなっているが，今後仮に地下水が枯渇するということになり，地元から要望があれば給水範囲を広げていこうと考えている。

　　　委　員　　下水の普及率については，上げていくには多額の事業費が発生してくるということで，この審議会でも議題のベースになると思うが，考え方を説明してもらいたい。

　　　事務局　　公共下水道の人口普及率は，2013年度（平成25年度）末現在68.6％になっている。公共下水道事業経営計画では，年25億円程度を投資していくこととしているが，今後経営が厳しくなるということで，現在事業費を下げている。現在の汚水整備は，市域の周辺部に行っており，ペースダウンする中で事業を進めていきたいと考えている。

　　　委　員　　起債残高が，下水1,000億，水道400億となっているが，これを減らしていくという考え方でよろしいか。

　　　事務局　　下水については，企業債残高を削減するということを目的に使用料を値上げさせていただいた。これについては計画的に削減していきたい。

　　　　　　　　水道については，元金償還額と借入額がほぼ同額ということで，400億円が続くものと考えている。これを解消するためには，財源確保が必要であり，耐震化等に係る費用を補助対象にしてもらうよう国に対して積極的に要望している。

　　　以上で質疑が終了し，会長から次回に開催予定の審議会の議題として，

・2014年度（平成26年度）決算

・2015年度（平成27年度）予算

・諮問

　　　　の３点について取り上げるよう指示があり，今審議会の議事が終了した。

（４）上下水道施設の視察について

　　　引き続いて，中津原浄水場，出原浄水場，久松台配水池，中央雨水滞水池，芦田川浄化センターの順で施設の視察を行った後，第１回福山市上下水道事業経営審議会を閉会した。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（13時30分閉会）